



平成27年2月2日

小樽開発建設部広報官

電話 0134-23-9910

(ダイヤルイン)

報道機関各位

お 知 ら せ

件 名	「わが村は美しく－北海道」運動第7回コンクールの表彰団体を決定 ～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～
-----	--

お知らせ内容

北海道開発局では、道内各地での住民主体の地域活性化活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に、「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、この運動の一環として、平成14年から2年に一度コンクールを開催しています。

今年で7回目となる当コンクールには、全道で99団体の応募があり、選考の結果、農山漁村における地域の活性化や個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動として、優秀賞14団体及び奨励賞30団体を表彰することに決定しました。

なお、来年度は、今回、選考された全道の優秀賞の中から大賞を決定します。

小樽開発建設部管内（小樽ブロック）では、下記団体に対し表彰式を行います。

- ◆表彰団体 【優秀賞】 美国・美しい海づくり協議会（積丹町）
【優秀賞】 北海道倶知安農業高等学校（倶知安町）
【奨励賞】 寿都地域マリンビジョン協議会（寿都町）
- ◆日 程 平成27年2月13日（金）13：30～
- ◆会 場 小樽開発建設部第1会議室

「わが村は美しく－北海道」運動についての情報は

<http://www.ot.hkd.mlit.go.jp/nogyo/wagamura.html>でも御覧になれます

（『小樽開建 わが村』で検索してください）

問	所 属	役 職 名	氏 名	電 話 番 号
合 せ 先	小樽開発建設部 土地改良情報対策官	土地改良情報対策官	むらた みのる 村田 穰	0134-23-5232
		土地改良情報係長	しまだ ゆういち 島田 勇市	

(別紙)

平成27年2月2日
北海道開発局

「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクールの表彰団体を決定
～農山漁村地域の活性化に貢献する活動を応援しています～

「わが村は美しくー北海道」運動では、2年に一度コンクールを開催しており、今年で7回目となります。コンクールには99件(団体)の応募があり、審査の結果、優れた活動として優秀賞14団体及び奨励賞30団体を表彰することとしました。

表彰式は、平成27年2月から表彰団体の応募先である各開発建設部ごとに行う予定ですので、該当する開発建設部にお問合せください。

1. 「わが村は美しくー北海道」運動の趣旨

この運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするため、地域の資源を活用して地域住民が主体的に行っている活動を支援する取組で、住民、行政、団体、有識者、企業など多くの関係者の協力を得ながら推進しています。

運動の核となるコンクールは、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする地域住民の努力と行動に光をあて、これを広く伝えてその活動を波及させていくことによって農山漁村の発展を目指すものです。・・・・・・【別添資料参照】

2. 第7回コンクールの結果

(1) 応募件数

全道80市町村から99件(団体)の応募

(2) 審査経過

H26. 3～6 募集

H26. 7～11 全道10ブロックでの現地調査
(ブロック審査委員会による全応募団体の現地調査)

H26. 11～12 ブロック審査委員会での審査
(現地調査の結果から、表彰団体の選考)

(3) 表彰団体

① 優秀賞(北海道開発局長表彰)[14団体]・・・・・・【開発建設部順】

- ▶ 新篠津村・農業観光生産者協議会(新篠津村)
- ▶ 豊正FAM協議会 ふれあい室(岩見沢市)
- ▶ 温泉市(森町)
- ▶ 美国・美しい海づくり協議会(積丹町)
- ▶ 北海道倶知安農業高等学校(倶知安町)
- ▶ 絵本の里けんぶち VIVAマルシェ(剣淵町)
- ▶ 特定非営利活動法人 ゆめみーる(登別市)
- ▶ 落石地区マリビジョン協議会(根室市)
- ▶ 十勝中札内ファーム街道委員会(中札内村)
- ▶ ピロロフェス実行委員会(広尾町)
- ▶ これぞ小清水!!実行委員会(小清水町)
- ▶ さろまシンデレラ夢実行委員会(佐呂間町)
- ▶ 民安ダム「サクラの森づくり」の会(天塩町)
- ▶ 農村生活文化伝承活動をすすめる会(豊富町)

- ② 奨励賞（各開発建設部長表彰） [30団体]・・・【ブロック内順不同】
- ◇札幌ブロック [4団体]
 - ・ いしかり森林ボランティア「クマゲラ」（石狩市）
 - ・ 北海道岩見沢農業高等学校農業土木工学科（岩見沢市）
 - ・ ふかがわ地域資源活用会議（深川市）
 - ・ 昴～うづら～（深川市・妹背牛町・幌加内町）
 - ◇函館ブロック [1団体]
 - ・ 厚沢部町河川資源保護振興会（厚沢部町）
 - ◇小樽ブロック [1団体]
 - ・ 寿都地域マリンビジョン協議会（寿都町）
 - ◇旭川ブロック [5団体]
 - ・ 元気母さん！夕の市（士別市）
 - ・ 剣淵町特産研究グループ福有会（剣淵町）
 - ・ 特定非営利活動法人 フレンズ（比布町）
 - ・ ファーマーズカフェ 風土（東川町）
 - ・ 農産物直売所 作倶楽（さくら）（南富良野町）
 - ◇室蘭ブロック [4団体]
 - ・ 北海道苫小牧総合経済高等学校 マーケティング部（苫小牧市）
 - ・ 一般社団法人 北海道中小企業家同友会 苫小牧支部 美苦みのり会
（苫小牧市）
 - ・ 新ひだか町商工会飲食業部会（新ひだか町）
 - ・ 有限会社 まさご（浦河町）
 - ◇釧路ブロック [2団体]
 - ・ 鶴居村立鶴居小学校（鶴居村）
 - ・ 別海町グリーン・ツーリズムネットワーク（別海町）
 - ◇帯広ブロック [4団体]
 - ・ 帯広農業高校 農産加工分会ビネガー班（帯広市）
 - ・ とかち酒文化再現プロジェクト（音更町）
 - ・ ペケレベツ情熱会議（清水町）
 - ・ 二宮郷土芸能保存会（豊頃町）
 - ◇網走ブロック [4団体]
 - ・ 網走川流域農業・漁業連携推進協議会（だいちとうみの会）
（網走市・津別町）
 - ・ 特定非営利活動法人 福祉サポートきらきら本舗（訓子府町）
 - ・ 合同会社びほろ笑顔プロジェクト（美幌町）
 - ・ 網走ちゃんぽん研究会（網走市）
 - ◇留萌ブロック [2団体]
 - ・ 留萌市食農教育推進協議会（留萌市）
 - ・ 北海道留萌千望高等学校 情報ビジネス科（留萌市）
 - ◇稚内ブロック [3団体]
 - ・ うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会（枝幸町）
 - ・ ワラベンチャー問寒クラブ（幌延町）
 - ・ わっかない勇知いも研究会（稚内市）

「わが村は美しくー北海道」運動について

「わが村は美しくー北海道」運動は、北海道の農山漁村地域と地域を支える農林水産業をもっと豊かにするため平成13年にスタートしました。

運動の中心となるのは、そこに住んでいる住民の方々であり、それぞれの地域にとって大事なもの、地域の価値を再発見し、住む人が誇れる「わが村」として魅力を高めます。

北海道の豊かな未来づくりは、一つ一つの地域の取り組みから始まり、それぞれの地域の個性が響き合い、高め合うことによって、北海道全体がいきいきとてきます。

このような理念のもと、北海道にあるたくさんの「地域資源」を見つけ、「いいもの」を多くの人に伝えることで、北海道内各地の住民主体の地域活性化活動を支援しようと平成14年から「わが村は美しくー北海道」運動コンクールを開催しています。

コンクールでは、生活と生産から形成される景観、地域の農林水産資源にこだわった地域特産物、地域内外の人の交流に着目し、道内各地で地域の魅力と活力を高めようとする地域住民の努力と行動に光をあて、優良な活動を表彰します。表彰団体の他参加した団体の活動内容を広く紹介し、活動を支援し波及させるとともに、コンクール参加団体が、他の地域や活動団体から多くの刺激を受けながら、より高い目標を目指していくことを期待しています。

《コンクールの概要》

① 応募対象

北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関わりがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む次のような活動を対象とする。

- 目的や内容に「生産と生活に根ざした景観づくり」、「地域で生産される農林水産物を活かした特産物づくり」、「地域内交流の活発化や都市住民等地域外との交流」という3つの要素の全て若しくはいずれかを含み、これらを活かして地域の活性化に貢献している活動。

② 表彰

2ヶ年で表彰を行います。(1年目は優秀賞と奨励賞、2年目は大賞)

○【平成26年度】

〈優 秀 賞〉 応募していただいた団体の中から優秀な活動を選考します。

〈奨 励 賞〉 将来性や継続性から奨励する活動を選考します。

○【平成27年度】

〈大 賞〉 全道の優秀賞の中から先導性、モデル性の高い活動を選考します。

美国・美しい海づくり協議会

【積丹町】

はじまりは？

積丹ブルーで有名な美国の海は、ダイビングスポットとして人気がある一方、ウニの食害などが原因で海藻類が失われる磯焼け問題が深刻化しています。

磯焼け対策としては潜水でウニを捕獲し他の場所へ移植する除去作業などを行うが、漁業者の高齢化や担い手不足から漁業者だけでは作業の回数も限られ限界となっていました。

そこで、漁業とダイビングの関係者が協議会を立ち上げ、海面利用について協力関係を築き、ウニの除去作業にダイバーがボランティアで参加する藻場再生活動を平成21年から始めています。



ウニ除去作業の様子

おもな活動



シュノーケリング体験の様子

活動は6年目を向かえ、藻場は年々海藻が繁茂し回復が図られており、ウニが海藻を食べることで身入りの良いウニが水揚げされ、水産資源の回復、海洋環境の改善が図られるようになりました。

このほかにも、町内外の子供達を対象としたシュノーケリング体験や水産教室の開催、観光客向けのウニむき体験ツアーの実施、森・川・海の栄養循環に着目した植樹活動など、観光業との連携や後継世代に向けた地域振興にも取り組んでいます。

ここが自慢

【海藻の森がある、美しい海づくり】

活動の成果により、これまで磯焼け状態にあった箇所が、見入りの良いウニ等浅海資源の新たな漁場として活用出来るようになったほか、近年、ほとんど見られなかったホンダワラ(魚類の産卵場所となる海藻の一種)の幼体が確認されるようになり、藻場に集まる多くの魚の様子をたくさんのダイバーが楽しんでいます。



積丹漁港

データ

■代表者: 神 哲治さん / 設立: 2008年 / 会員: 67名

■連絡先: 積丹郡積丹町大字美国町字船瀬48番地5

■電話: 0135-44-3382

■FAX: 0135-44-2125

■HP: <https://ja-jp.facebook.com/utsukushiiumipro>

北海道倶知安農業高等学校

【倶知安町】

はじまりは？

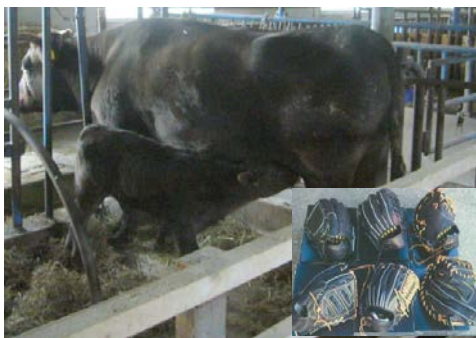
倶知安町の特産品であるじゃがいもは、約15%が規格外品となることから、倶知安農高ではその規格外じゃがいもを使って商品開発を行っています。

平成16年にじゃがいもに酵素を加え、ペースト状にした「ポテトペースト」を地元企業と共同で開発し特許を取得、「ぼてぷりん」などを商品化して地元菓子店が販売し現在に至っています。



試作品検討の様子

おもな活動



牛の飼育の様子

平成25年からはこの「ポテトペースト」をさらに活用・普及させるため、本格的な商品開発に取り組み、添加物を一切使用しない安心安全なスポーツバー「NISEKO MONTE BAR」を完成させ、町内外で発売しています。

また、「ポテトペースト」を使ったドーナツや人形焼きなどを販売し、町内外の子供達や長期滞在の外国人の方も対象にした交流会を実施し、「じゃがいもの付加価値向上とブランドの創造を通じた地域振興・活性化」に取り組んでいます。

このほか、規格外じゃがいもを細かくスライスし、牧草に混ぜ合わせ発酵させた「ポテトサイレージ」による牛の飼育や、校内で育てた和牛の肉を利用し、ハンバーグに加工して地域で販売したほか、牛の皮も活用して、野球グローブを作るなど「ポテトサイレージ」による循環型農業にも取り組みました。

ここが自慢

【ポテトペーストを地域の産業に】

規格外品の活用に有用性を見い出し取り組んできたことが、ポテトペーストの普及と倶知安のブランド商品作りに繋がり、企業の設立により新たな雇用を生み出すなど、地域を元気にする取り組みが出来ました。これからも地域との連携を深めながらグレートアップさせていきたいと考えています。



スポーツスナック ニセコモンテバー

データ

■代表者：鎌田一宏さん／設立：1941年／会員：86名

■連絡先：虻田郡倶知安町字旭15番地

■電話：0136-22-1148

■FAX：0136-22-2252

■HP：<http://www.kucchannougyou.hokkaido-c.ed.jp/>

寿都地域マリンビジョン協議会

【寿都町】

はじまりは？

地域に活力を取り戻すためには水産業を元気にすることが第一歩のため、観光協会、水産加工業組合、行政機関などとともに平成18年「寿都地域マリンビジョン協議会」を結成、水産業を核とした様々な地域おこしプロジェクトを展開し、これらの取組の一環として寿都町漁業協同組合が中心となって漁業体験学習を実施し、都市と漁村の交流を深めています。



漁船への体験乗船の様子

おもな活動



サケの人工授精体験の様子

平成15年から道内外の修学旅行生などを対象とした「漁業体験学習」を継続して実施、漁船乗船、水産加工場見学、ホッケの開きづくり、地引網体験など豊富なメニューで漁業の魅力を伝えていきます。

「漁業体験学習」はニーズが高く、希望する学校は口コミを中心に拡がり、受入生徒数は年々増加し、平成25年には寿都町人口の約7割に相当する2,300人、19校となりました。

また、中学校を対象とした「宿泊体験学習」では、町民宅への宿泊などを通じて地元の子供達・漁業者・町民とのふれあいの場になっており、お互いの地域の文化の発信などによる交流活動も盛んに行われています。

町の姿には観光地という派手さはないが、自然や地域の産業、そして地域の生活を肌で感じる体験が魅力となって、道内外の多くの学校に支持されています。

ここが自慢

【自然の風景、感動の体験、温かな出会い】

海や山といった自然から多くの恩恵を受けているありのままの地域の姿を資源として捉え、その素晴らしさを魅力として発信すること、それらを通じて町外から人を呼び込み、交流活動を生かして「元気な漁業・漁村づくり」を行っています。



地引網体験の様子

データ

■代表者:木村 親志さん／設立:2006年／会員:14名

■連絡先:寿都郡寿都町字大磯町20番地先 寿都町漁業協同組合

■電話:0136-62-2555

■FAX:0136-62-3603

■H P:<http://www.town.suttu.lg.jp/index.html>